

# 平成 26 年 9 月 第 7 回定例会質問

平成 26 年 9 月 10 日 (水)

1. 全国学力テストの公表について
  - 1) 公表の目的について
  - 2) 目的達成の為の最善の公表について
  
2. 外郭団体への普通財産の貸付料、行政財産の使用料について
  - 1) 賃料の徴収について
  - 2) 貸付料の見える化について
  
3. 市債発行の借り方と金利について
  - 1) 借り換えによる繰り上げ返済の活用について
  
4. 小・中学校の空調及び中学校給食について
  - 1) 総合計画キャラバンでの意見について
  - 2) 検討委員会立ち上げ時期について
  - 3) 財源について

## 質問書

維新の会の久保高章でございます。第7回定例会におきまして質問の機会を与えていただきましたことに感謝申し上げます。

先輩、同僚議員の皆様におかれましては、しばらくの間ご清聴を宜しくお願い申し上げます。

今回は、4点、全国学力テストの公表、外郭団体への普通財産、行政財産の貸付、市債の発行にあたっての借り方、金利等の取り組み、小・中学校への空調、中学校給食実施に向けての進捗状況について質問をさせていただきます。

まずは、全国学力テストの公表についてお伺い致します。第4回定例会、維新の会代表質疑において文部科学省より平成26年度の全国学力テストから市町村教育委員会の判断で学校別の結果を公表できる方針により本市はどの様に対応されるのかの問いに対し、教育委員会は、昨年度の全国学力テストについては本市及び全国の平均正答率とともに、分析結果の公表は行っておりますが、学校別の公表は行っておりません。各学校は、教育委員会の報告書を踏まえ、自校の状況について保護者に説明はしてはしておりますが、平成26年度4月の全国学力テスト結果については学校別の結果を公表して行く方向であります。とご答弁頂きました。

そこでお伺いいたします。今年3月4日にご答弁頂きました学校別の結果を公表していくとは、どの様な目的で公表を行うとご答弁されたのでしょうか。お聞かせください。

次に、外郭団体への普通財産、行政財産の貸し付けについてお伺いいたします。現在、外郭団体に対する貸付料金の内訳として無償貸与と減額貸与が存在致します。普通財産において無償貸与すなわち貸付料0円が10団体あり、もし貸付料を取った場合、土地であれば路線価相当で評価し、建物は一般的社会通念上の金額で試算すると2億8211万5千円となり減額は1団体で、1811万円を905万5千円で貸し付けております。小計すると3億22万5千円となります。又、行政財産の土地、建物、貸付料0円は、6団体あり、貸付料を取った場合は、868万7千円となり減額は1団体で、925万7千円を202万2千円で貸してあります。小計すると1794万4千円となり、合計しますと3億1816万9千円の貸付料が歳入となります。

そこでお伺いいたします。この貸付料の減免は隠れ補助金となると考えますが、なぜこの貸付料が表に出ないようにされているのか、お聞かせください。

次に、市債の借り方と金利についてお伺いいたします。平成25年度末現在の一般会計の市債残高は2452億3102万8千円となっております。この市債に対する利子を平成26年度予算において35億2605万2千円支払われる計上をされています。

現在、国の長期金利も下がっている中、主な借入先と借り入れ金利、各々の借入額はお聞き致しました。その結果、金利が年 0.5%以下、中には平成 25 年度発行分では概ね 10 年償還で 0.226%もありますがその割合が 8.8%、0.5%から 1.0%以下が 25%、1.0%から 1.5%以下が 31.8%、1.5%から 2.0%以下が 21.6%、2.0%から 2.5%以下が 9.1%、2.5%から 3.0%以下が 2.7%、3.5%から 5.0%以下が 1%で市債利子を市債残高で割ると 1.43%となります。

そこでお伺いいたします。現在の借入金利、又、今後の借入金利を下げる努力はどのような事を行われているのでしょうか。お聞かせください。

次に、小・中学校普通教室への空調設備、中学校給食実施に向けての進捗状況についてお伺いいたします。5月28日より総合計画キャラバンと銘打って現在までにワークショップ、意見交換を6回開催され、小・中学校のPTAの方、教職員、保護者、一般市民、中学生、延べ215名の方々で行われています。前半3回の参加者意見の概要は拝見させて頂きましたが、後半の3回の意見の概要はまだ公開されておられません。前半の3回の意見を見せて頂く限り空調にしても中学校給食にしても圧倒的に望む声が多くあります。当局の今後の方向性を見せて頂くと耐震化工事終了後の平成27年度末以後、空調、次に中学校給食の順序ありきに思えてなりません。

第5回定例会でも提案させて頂きましたが平成28年度より同時に行うべきであると考えますが、6回のワークショップや意見交換を行った結果どの様に皆さんの意見をとらえ、感じられましたか。

やはり財政難を理由に同時には出来ない理由をお考えでしょうか。お答えください。

以上で、1問目の質問を終わります。

## 一問一答

### 1. 学力テストの公表

そこでお伺いいたします。今年3月4日にご答弁頂いた学校別の結果を公表していくとは、どの様な目的で公表を行うとご答弁されたのでしょうか。お聞かせください。

《答弁》

先ずは、学力テストの公表ですが、学力の向上を図る為に学校別成績を公表とおっしゃっておられますがどの様な公表のあり方をお考えでしょうか。3月のご答弁の時点である

程度の公表に対する骨子は出来ているのご答弁と考えますが、お答え下さい。

《答弁》

学力を向上させるためには数多くの要素が含まれていると思っております。今回の公表において、学校側として教師の方々の質の向上、やる気、教え方、現状の課題と問題を把握し危機感を持って頂く事が必要です。家庭側では家庭教育環境の向上、子供のやる気、勉強の面白さ、勉強の必要性、自分自身の課題の把握等が出来る公表が必要と考えますが、「今お答えになった公表のやり方で私が申し上げた事柄がクリアできるのでしょうか。」昨年度とは違う公表とは、「どの様なやり方で今後検討されるのでしょうか。」お答え下さい。

《答弁》

本来、私は、今年3月のご答弁による学校別成績公表を行っていくという事は、学校別の成績を明確にすることだと思っておりました。例えば、佐賀県武雄市で平成24年、25年に行われているような学校別正答率を市のホームページ等で公表し、県や全国の平均正答率との比較や自校の市内での位置付が明確となる公表を行い、教師や、保護者、子供、地域住民の方々が自校及び地域の学校の学力レベルを意識し課題への対応策を皆さんで考えていくことだと認識しておりました。是非、武雄市の様な公表を行って頂きたいと考えますが、いかがでしょうか。お答えください。

《答弁》

序列化に繋がるとのご答弁でしたが、私も数字だけが一人歩きすることは反対ですが、武雄市の教育長は、「昨年度と本年度の結果にばらつきがあり、学校間の差は固定化されていない。序列化にはつながらない」と言われ、樋渡市長も「公表することで、保護者や地域が学力を考えるきっかけになる。これまでは学校、先生にあまりにもお任せだった。言われるような序列化は過去の経験上、なかった」と言われています。

私は、学校や個人の頑張りが明確に分かる公表のあり方を強く希望いたします。又、成績の公表と同時に、質問紙の回答も同時に公表を行い家庭での子供の生活や意識と学力テストの成績との相関関係を検証分析する必要があると思いますが、いかがお考えでしょうか。

《答弁》

いずれにせよ、8月13日の神戸新聞の見出しに県内唯一「尼崎学校別成績公表へ」とあり2014年内に公表予定と書かれていました。学力向上に繋がる学校別成績公表を期待しておりますので是非とも宜しく願います。

## 2. 外郭団体への普通財産、行政財産貸付について

そこでお伺いいたします。この貸付料の減免は隠れ補助金となると考えますが、なぜこの貸付料が表に出ないようにされているのかお聞かせください。

《答弁》

次に、外郭団体への財産の貸付についてお伺いしていきます。公共性が高く、市の事業を委託し収益が無い団体があることは理解しております。

しかし、現状ではこの貸付料金が全く表に出ていません。まずは、貸付料を徴収し、その貸付料を団体個別に精査の上、予算より補助金を出すことにより表面化し、議会等のチェックを受ける必要があると考えますがいかがでしょうか。お答えください。

《答弁》

現状、18団体の内、当期収支差額や営業利益の方が補助金を上回っている団体があります。このような団体も貸付料が無償となっていますがそのあたりはどのようにお考えですか。お答えください。

《答弁》

団体個別を精査した上で、貸付料を少しでも徴収して頂く努力をし、一般財源として頂きたいその様に考えますが、約3億1千万円の内いくらかは徴収出来ないでしょうか。徴収出来るのであればいくぐらいとお考えでしょうか。お答えください。

《答弁》

(要望) 財政が苦しい、苦しい。と言われる前にこの様な隠れ補助金を見直し予算上での見える化を行う事で個々の外郭団体の経営状況に照らし合わせた補助金制度の構築を強く要望させていただきます。宜しくお願いいたします

### 3. 市債発行と借り方について

そこでお伺いいたします。現在の借入金、又、今後の借入金利を下げる努力はどのような事を行われているのでしょうか。お聞かせください。

《答弁》

次に市債発行についてお伺いしていきます。現在の1.43%の利率は非常に高いと考えます。国の政策金利も当面は上がらないと思っています。なぜなら国債の発行額が1000兆円を超える中、1ポイント金利が上がるだけでも10兆円上昇致します。ですから本市の借入も、せめて年1%以下の低金利固定10年物や変動制等に借り換え、繰り上げ返済を行えばと考えます。仮に現状の平均金利が0.1ポイント下がるだけでも約2億5千万円歳出を削減できます。今後、金融の専門家を登用し金利検討委員会を立ち上げ研究されるお考えはありませんでしょうか。お答えください。

《答弁》

ここで、一点確認したいのですが、兵庫のじぎく債や尼崎市民債（住民参加型市場公募地方債）等をなぜもっと活用しないのでしょうか。今年度、のじぎく債は5年償還で利率は購入者に年0.21%、金融機関への手数料を率に換算すると年0.09%、合計実質年0.3%で借り入れ可能ですが、1億円の発行に止まっています。現在一般的に市民の方々が銀行に定期を行っても年0.025%ほどです。この、のじぎく債は約10倍の金利です。市民の方々も市の投資の一躍を担っている意識も高まり、金融機関に支払う利息を市民に享受してもらえますし、市にとっても安い金利で双方にメリットがあると思います。政令市では数百億円発行している中、せめて数十億円発行してはと考えるかと思いますがどうでしょうか。お答えください。（一つの例として船橋市の船橋みらい債は、平成25年度で5年償還で5億円発行され応募倍率は3.6倍となっていますし、金利も手数料込で年約0.5%です。）

《答弁》

（要望）有難うございます。のじぎく債に限らず尼崎市民債等を発行し低金利で借り入れるかをより一層ご検討ください。私も専門家でもありません。今後の金利動向や、どうすれば最善かはわかりません。支払利息は、銀行や、公的金融機関を儲けさせるだけです。1円でも税金の支出を抑え市民の為に使えるよう、現状の借入金利や今後の借り方についても、是非今ご提案した金融の専門家を登用し金利検討委員会を立ち上げ0.1ポイント2億5千万円でも削減できるようお願い致します。要望といたします。

#### 4. 小・中学校空調及び中学校給食について

第5回定例会でも提案させて頂きましたが平成28年度より同時に行うべきであると考えますが、6回のワークショップや意見交換を行った結果どの様に皆さんの意見をとらえ、感じられましたか。やはり財政難を理由に同時には出来ない理由をお考えでしょうか。お答えください。

《答弁》

次に空調と給食について伺います。やはりどちらも早急を実施していく必要性は皆さんの意見から感じられたということですが、空調については今年2月に準備していくと答弁されておりますが、給食についても耐震化事業終了後の平成28年度から事業化を実施していく為には検討委員会を来年度には立ち上げる必要があると思いますが、来年度、検討

委員会を立ち上げるお考えでしょうか。そうでないと 28 年度からの実施は難しくなると思いますがいかがでしょうか。お答えください。

《答弁》

有難うございます。検討委員会を立ち上げもこれから検討ですか。全ての初動が非常に遅いその様に感じられます。平成 28 年度には、空調と同時に給食もどうしても行って頂きたいとそのように思っております。しかし、やはり財源問題ということですね。第 5 回定例会でも提案させて頂きましたが、空調、給食（デリバリー方式）同時に行っても初期投資、維持管理費用、合計で約 9 億 3 千万円です。前回、予算提案として投資向け一般財源枠、適正基金高以上部分からの支出依頼を行いました。平成 25 年度決算においても約 19 億円基金を増額され基金残高が約 132 億円となり適正基金高の 100 億円からすると約 32 億円の超過額がありますがやはり基金からの予算組は出来ないでしょうか。お答えください。

《答弁》

やはり無理ですか。今回は、新たな財源として先ほどご答弁頂きました外郭団体からの貸付料の見える化を行い、各団体を精査した上で取れる所からは取り財源としてはいかがでしょうか。又、平成 27 年度末にて市バスが終了し民営化されます。市バスには、平成 26 年度まで路線補助金約 3 億 7 千万円、民営化補助金 2 億 5 千 6 百万円、合計 6 億 2 千 6 百万円支出されていますが、平成 28 年度からは赤字路線への補助金としては約 1 億円程度と試算されています。であれば、約 5 億円前後の差額が発生し、平成 28 年度支出不要となります。この額を子供たちの為に投資して頂けないでしょうか。子供達への投資は優先順位が高いと考えますがいかがでしょうか。お答えください。

《答弁》

私は、全ての外郭団体を今一度精査し貸付料が取れる所からは徴収し、市バスの補助金の差額、市債金利の見直し等により子供達への教育環境を整える投資を最優先で行って頂きたいその様に思います。何度も申し上げますが、空調、給食の初期費用、維持管理費用



合計 9 億 3 千万円です。内、先程の市バスで約 5 億円残り 4 億 3 千万円を前段で質問致しました基金や貸付料、市債金利の調整等で 28 年度より実施できないでしょうか。お聞かせください。

《答弁》

今回、私の申し上げた財源策以外にまだまだ有るのかと思います。なかなか実施に向けてはハードルが高いことを痛感しておりますが、子供達へのこの空調・給食事業の優先順位は私自身非常に高いと思っております。是非とも早急な事業化をお願いいたしまして私の全ての質問を終了致します。           ご清聴ありがとうございました。